

総務文教常任委員会

小学5年生・6年生&中学生の わらび座ミュージカル観劇料116万円計上

6月定例会の総務文教常任委員会では、田沢財産区特別会計補正予算、白岩辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更についてと令和7年度一般会計補正予算などが審査されました。

令和7年度 総務部・企画部・教育委員会関係の一般会計補正予算（第3号）主な内容

総合行政情報システム管理費	9,026万円	全国の自治体システムの標準化に伴う改修等
児童・生徒観劇事業費	116万円	わらび座ミュージカル「秋田は何もない」観劇料
小学校・中学校の一般管理費	429万円	給食の安全な提供のため学校給食支援員を配置する経費（角館小、生保内小、角館中）
学校給食費	814万円	給食材料費（牛乳、米等）高騰による給食費値上げ分の経費
文学顕彰碑設置事業費	121万円	仙北市にゆかりのある作家を顕彰する文学碑（河正雄氏寄贈）

総務文教常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆総合行政情報システム管理費

質問 今回整備をするが、何年かに一度また更新となるのか。システムが使える期間はどれくらいになるのか。

答弁 今回のシステム標準化については、国から令和7年度末までに全国の自治体で対応するように求められているものである。仕様が変われば対応しなければならないが、多くは国からの財源措置があると見込まれる。利用料の負担は各自治体となるが、財源措置を含めた国の動向を注視していく。

◆児童生徒観劇事業費について

質問 観劇人数、チケット代金、バス等運行費はどうなっているのか。

答弁 5・6年生272名、中学生480名、教員107名で計859名となっている。チケット代は割引料金となっている。運行費については、基本的にわらび座のバスで送迎するので無料である。

◆学校管理費（一般管理費）委託料について

質問 職員室に給食支援員は必要か。また、どの程度の時間を予定しているのか。

答弁 給食の安全な提供のため、校長をはじめ、ほとんどの職員が給食の盛付けなどの見守りを強化しており、その間、職員室には電話番しかいない。安全安心に万全を尽す為にも、今回補正をお願いするものである。また時間は、職員室での給食の準備・片付け、電話対応等で2時間程を予定している。

主な議案説明

◆田沢財産区特別会計補正予算（第1号）

当局 歳入は田沢財産区内の茶たての清水農村公園にある東屋の修繕費に対しての繰入金である。歳出には同額を一般会計繰出し金に計上している。

◆白岩辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

当局 3月をもって閉校した白岩小学校校舎を、放課後児童クラブを含めて地域コミュニティセンターに用途変更するための改修経費を、補助率2分の1の新しい地方経済生活環境創生交付金を活用する事としているが、残りの2分の1の経費に辺地債を充てるべく、白岩辺地に係る公共的施設の総合整備計画の議決を求める。

※2月議会で継続審査とした「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する請願は6月議会でも継続審査とした。

（門脇 晃幸 記）

仙北市議会だより

8

市民福祉常任委員会

角館総合病院の病床

170床から152床に削減！経営改善策を可決！

6月定例会の市民福祉常任委員会では、角館総合病院の経営改善を図るための病床数削減案や放課後児童クラブの要員増、墓地公園施設修繕費などを盛り込んだ令和7年度一般会計補正予算などが審査されました。

■令和7年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算（第3号）主な内容

生活保護事務費	60万円	生活扶助基準変更による生活保護システム改修費
生活保護受給者向け就労支援事業費	5万円	就労支援員初任者研修会参加のための旅費
認可保育園等管理費	28万円	角館西保育園、白岩小百合保育園の誘導灯の修繕費
放課後児童対策事業費	349万円	個別支援のため、会計年度任用職員2名分の人件費等
母子保健対策費	133万円	母子保健・マイナンバー連携のシステム改修委託料
保険事業総務費	180万円	予防接種のシステム改修の委託料
仙北市民公開講座事業費	31万円	世界高血圧の日 市民公開講座開催（7/13）に伴う諸経費
西明寺診療所管理運営費	126万円	レセプトコンピュータ不要により解約のための残債
墓地公園管理運営費	52万円	生保内柏山墓地公園のU字溝等修繕の工事費

市民福祉常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆生活保護事務費について

質問 システム改修のための委託料との説明であったが、具体的にはということなのか。

答弁 生活保護システムの改修である。10月1日から生活扶助基準が変更になるため改修が必要になる。

◆生活保護受給者向け就労支援事業費について

質問 就労支援員初任者研修会を受講する際の旅費とのことだが、研修会の内容はどのようなものなのか。また、生活保護を受給されている方の人数、就労支援の対象になってる方の人数、年齢層はどうなっているか。

答弁 本研修は、厚生労働省が主催するもので、秋田県の枠が3名から4名あり、当市から1名参加する。就労支援が初めての方々を対象にしており、就労支援の基本的プロセス、施策の活用方法、日々の実践を振り返りながら、他の受講者と一緒に就労支援を学び、自分自身の価値観、就労支援員としての倫理観を身につけることが目的である。生活保護を受給されている方は令和6年度末時点で259世帯327人、就労支援の対象は高校生をのぞき、15歳から64歳までの方で、40代が5人、50代が4人、60代が4人、合計13人である。

◆放課後児童クラブ放課後児童対策事業費について

質問 個別支援等のため、職員増の要望とのことだが、詳細について伺う。

答弁 角館小学校の放課後児童クラブの利用者が増え、教室を一つ増やした。各教室に職員を2名配置しなければならないことや、個別に対応が必要な児童もいることから、会計年度任用職員を2名雇用することとしたい。

◆議案第70号 仙北市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

質問 角館総合病院の病床が170床から152床へ減少することにより、患者さんや職員に影響はないのか。

答弁 病棟の再編により、数名の入院患者の方には病室の移動をお願いするが、それ以外の影響はない。職員への影響もなく、夜間勤務の負担軽減に繋がると考えている。

（小田島 広仁 記）

産業建設常任委員会

人と地域を創生する観光誘客事業費 1,305万円を計上

6月定例会の産業建設常任委員会では、内閣府に3ヵ年計画で申請し採択となった「地方経済生活環境創生交付金事業」の人と地域を創生する観光誘客事業費等が審査されました。

令和7年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の 一般会計補正予算(第3号)の主な内容

機構集積支援事業費	22万円	農地パトロール時のレンタカー借り上げ料等
農地利用効率化等支援交付金	769万円	国要望調査により増額配分を受けた補助金
未来へつなぐ 元気な農山村創造事業費補助金	60万円	地域農業と障がい者の農福連携支援
人と地域を創生する観光誘客事業費	1,305万円	海外誘客事業、おもてなし向上事業等の委託料

産業建設常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆機構集積支援事業費について

質問 農地パトロールはどのように実施しているのか。

答弁 1台の車に農業委員・推進委員と事務局という班編成で各地区をパトロールし、そのパトロール中でも現場で状況を聞く等して適切なアドバイスを行っている。

◆未来へつなぐ元気な農山村創造事業費について

質問 事業の内容と効果は。

答弁 6次産業化や障がい者の訓練の場所創出、収入向上、様々な活動を通して障がい者に対する理解啓発に繋げる事業である。このような連携が農業を含む幅広い分野で取り組まれていくことが共生社会の実現と考え、後押ししていく支援である。

◆人と地域を創生する観光誘客事業費について

質問 羽田空港での産直館PR事業では仙北市の工芸品等も出店するのか。

答弁 仙北市の周知を図ることが事業の目的であり、工芸品等については他自治体の事例も参考にしながら、仙北市ならではの情報発信に努めたい。

質問 観光客の受け入れ体制の改善点を、市内民間業者と共有するとしているが市のサポートは。

答弁 報告会のほか、ソフト面としてスキルアップセミナーを開催しフォローアップを図る。

質問 台湾高雄マラソン時の市長トップセールスの随行人数は。

答弁 台湾トップセールス、温泉まつり、観光フェアの随行で延べ8人、高雄マラソンはランナーも含め5人である。

質問 TANBUN（たんぶん）※・リトリート推進事業でタイにターゲットを絞った理由は。また、昨年度仙北市に宿泊したタイ人の人数は。

答弁 昨年度まで置いていた現地事務所の提案と、台湾とタイが県の重点ターゲットとなっているためである。昨年度仙北市内に宿泊したタイ人の人数は1,649人である。

（武藤 義彦 記）

用語
解説

・TANBUN（たんぶん）…タイ人が好むタイ人にとって「徳を積む」という意味